



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

愛知県板金工業組合

常務理事会と 理事会を開催

2月24日(金)に愛知県板金は組合事務所にて常務理事会を午後1時より、また理事会を同日3時より開きました。常務理事会においては、引き続き行われる理事会の議事内容が検討されました。今回は議案が多く、又、その資料も沢山有りましたが報告や連絡事項がほとんどであり、協議事項は1案のみでした。

理事会ではまず齋藤理事長が挨拶し、「年度末であります、アスベスト特別教育講習と保証制度の再講習を各地で今後も実施しますので、対象となる方は是非受講していただきたい。」と述べ、議事に入りました。

① 委員会の活動方針について

総務委員会

暫定で大友副理事長が兼任して

いた委員長に鈴木準一氏が就くことになりました。

全板和歌山大会の旅程、功労表彰者などを決定しました。

第41回通常総代会は5月16日(火)午後1時より名古屋国際ホテルにて開催予定となっております、その準備をしています。

県板共済への加入を今後も促進します。

広報委員会

県板ホームページに「愛板」最新号を掲載しています。ご覧下さい。

技研厨空委員会

保証制度の講習会には委員が講師を務め協力していきます。

厨房フードに関する講習会を秋に開く予定です。

技能委員会

技能検定の受験申請受付を4月初旬に始めます。実技試験の実施

日は7月16日(日)、会場は岡崎工學院の予定です。

経営研究委員会

今後もアスベストに関する特別教育講習を100名単位で開きますので、支部ごとに取り纏めて申し込みください。

保証委員会

保証制度の改正に伴い、資格者全員を対象に再講習を実施しています。是非受講してください。

保証制度の資格取得のための講習会も18年度に開きます。

技能士会役員会

11月に開催される「技能プラザ」に出展参加します。その際には各支部よりの世話人さんにも協力を頂きます。

技能士会の無い支部が在ります、支部長さんの尽力に依り会を立ち上げ、世話人さんを選出していただきたい。

青年部

2月11日・12日に全国建築板金競技大会が開かれ、愛知県板金青年部より2名の選手が出場しました。その成績発表は3月初旬の予定です。

第27回青年部通常総会を4月16日(日)に「セントレアホテル」にて開催します。

② 第4回石綿「特別教育講習会」開催について(案内)

日時 4月30日(日)

午後1時より5時まで

場所 岡崎技術工學院

受講資格 18歳以上

参加費 6千円

定員 100名(定員になり次第、締め切ります)

申し込み期限 4月7日まで

③ 「責任施工保証制度」の改正について

(1)従来の保証制度(保証と補償)が分離する。

・責任施工保証制度と生産物賠償責任保険(PL保険)とに分かれる。

・責任施工保証制度は補修に関する部分を保証する。

・生産物賠償責任保険は事業所が負う損害を補償する。

(2)保険料は1年間の売上高に依りて保険期間開始前に納付する。

(3)保険加入期間は1年間であり、毎年更新する。(中途加入可)

(4)補償の限度額は2千万円で、従来と同じである。

(5)保険に加入しない場合は補償の対象外となるため、補償を継続するには加入し続けることが必要である。

(6)生産物賠償責任保険に加入しておれば、過去の施工物件全てが補償の対象となる。

・補償の対象となるのは事故発生時において被保険者であることが条件です。保証書を発行した物件に限らず、施工し

た全ての物件が補償の対象となります。

(7)組合を脱退した場合、損害賠償金は支払われない。(被保険者でなくなる)

・施工に対する保証責任はあくまで施工者にあるので、組合を脱退しても事業所として存在している限り、責任は施工した事業所が負うことになる。

(8)組合員個人で生産物賠償責任保険に加入している場合、新制度の団体生産物賠償責任保険に重複して加入する必要はありませんが、他の生産物賠償責任保険の保険料と比較して、保険料が安価な場合には切り替えて加入されることをお勧めします。

*改正は平成18年4月1日から実施。

④ 第58回全板和歌山大会

について

「県板コース」はトイレ付きのバス2台で定員は70名となっております。独自のコースで参加する支部も有り、愛知県板からは11名(2月27日現在)が参加する予定です。

⑤ 中小企業における

新会社法施行について

今年5月より新会社法が施行されます。法人の事業所はご注意ください。

(1頁よりつづき)

⑥「住宅リフォームフェア」

出展協力について

これは「リフォーム産業新聞社」が主催する一般消費者向けのイベントで5月13・14日に吹上ホールにて開催されます。その内容の一つに「体験コーナー」があり、そこへの出展依頼が来ております。常務理事会で協議した結果、開催日が全板大会の直後であり、協力者の確保が困難であるとの判断から、この依頼は断ることにしました。

しかし、このイベントは我々の仕事に役立つことがあると思われるので、興味のある方は見学してみてください。

⑦名古屋城本丸御殿積立基金

協力募金箱製作について

名古屋城本丸御殿の復元が計られています。その基金への寄付を集める募金箱の製作を名古屋市技能職団体連合会より依頼されていきました。昨年12月に開かれた常務理事会において、この依頼を受けることが決まり、名古屋ブロックと技能士会に製作をお願いしました。年末年始の多忙な時期にもかかわらず、



▲ 贈呈した募金箱

14個の銅板やステンレス鋼板で作られた募金箱が集まりました。

2月3日(金)に鷺見名古屋板金連合会長が他の加盟8団体代表と共に名古屋市役所を訪れ、それぞれの技能を生かして作られた募金箱を市に贈りました。

この募金箱は今後、名古屋城や観光案内所に常設され、又、本丸御殿のイベント会場にも置かれるそうです。

⑧名古屋市立小・中・高校生を対象とした「ものづくり講座」

講師派遣について

これも名古屋市技能職団体連合会より依頼がありました。名古屋市内だけの事業ですので、名古屋ブロックに諮ったところ、派遣できるとの回答を得ました。又、レリーフ、表札、銅板折鶴のテーマで講座のプログラムも作成していただきました。これに基づき講師派遣要請がなされた際には協力をお願いいたします。

⑨ その他

次回の理事会は4月25日(火)午後3時より開催することになりました。

以上で議事を終え、相談役3名の方々の挨拶の後、大友副理事長が閉会の言葉を述べて理事会を閉会しました。

豊田支部

創立50周年記念式典と

祝賀会開く

豊田支部は2月26日(日)に豊田産業文化センターの小ホールと多目的ホールに於いて支部創立50周年の記念式典と祝賀会を開催した。

豊田支部は昭和30年に7名の組合員でスタートし、今年でちょうど50年目を迎えた。記念式典と祝賀会には来賓・招待者・支部組合員を合わせて107名が出席した。

松井繁副支部長の開会の言葉で始まった記念式典では、松井祐治支部長の挨拶の後、次に掲げる表彰が行われ、それぞれの代表者が壇上にて表彰状を受け取った。

*愛知県中小企業団体中央会
会長表彰 役員功労者5名
優良従業員9名

*愛知県職業能力開発協会
会長表彰 役員功労者9名

*豊田加茂建設連合協同組合
理事長表彰 役員功労者1名

*愛知県板金工業組合理事長表彰
役員功労者7名

*豊田板金工業組合組合長表彰
役員功労者9名

*同 感謝状 16名

表彰の後、豊田市へ記念品として銅板と真鍮板で製作した鶴が豊田支部青年部長の田中義久氏より、市長の代理で出席した産業部産業

労政課長の杉藤嘉洋氏に贈呈された。

続いて来賓の祝辞となり、鈴木公平豊田市長(杉藤課長代読)、三浦孝司愛知県議会議員、服部鉦臣愛知県議会議員、光岡保之豊田市議会議員、齋藤充昭愛知県板金理事長の順で述べられた。

最後に豊田支部会計の奥田惣氏が閉会の言葉を述べて式典は終了した。

休憩後、多目的ホールに会場を移して祝賀会に入り、まず西俣章実行委員長が挨拶し、続いて来賓の安田渉中央会振興部長、長谷川守正能力開発協会常務理事、横山眞久横山興業(株)社長が祝辞を述べられた。



▶ 祝辞を述べる齋藤理事長

そして清水勝夫豊田加茂建設連合協同組合理事長の音頭で乾杯が行われ祝宴が始まった。アルコールで会場の雰囲気がいよいよ柔らかくなった所でアトラクションが入り、トヨタ自動車民謡サークルによる「津軽三味線合奏と舞踊」が始まり、16名の出演者により12の出し物が演奏された。

会場内には、最近の愛知県板金西三板金連合会の会合で会えなくなった懐かしい顔や久しぶりの顔の人たちの会話が弾んで盛り上がっていた。

祝宴も終盤となり、梅村勝一豊田職業訓練協会会長が万歳三唱で中締めを行った。この後しばらくして和やかな雰囲気の中にお開きとなった。

松井(豊田支部)



▶ 祝賀会

全国建築板金競技大会

愛知より2名出場

2月11・12日(土・日)、全板連青年部主催の第28回全国建築板金競技大会が、静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」で開催された。

愛知からは1月の県予選の結果「技能競技の部」に佐々木利浩君(中川港)、澤田雄三君(岡崎)の二名が全国からの選手47名と共に技を競い合った。「建築技術の部」には3年ぶりに参加選手がいたが、ケガの為急遽不参加になった。来年は両部門に選手が参加することを期待したい。

主催者側は「技能競技の部」に昨年の約1.5倍の参加申し込みがあり、製図室に全員入れるか嬉しい心配をしていた。

初日は受付、開会式、記念写真



最後の調整をする選手

撮影、競技上の注意説明の後、夕食を済ませて翌日に備えた。

二日目は、間近に見える富士山の頭に少し雲がかかっていたが好天に恵まれ、付き添い者達が見守るなか午前8時に競技が開始された。愛知からは、付き添い者3名応援4名が見守った。

競技開始後、40〜50分後には製図を完成し作業場へ入って行き、すぐさま作業に取り掛かった。愛知の選手は50分程で描きあげた。全国で一番速かった選手は20分程で描きあげていた。

会場は、時間と共に選手の熱気が



練習通りに

作業出来ているかな?
(中央が愛知県選手)

と炭火で温度が上昇していた。

愛知の選手は共に標準時間(3時間30分)内に作品を完成させ提出した。その表情は「出来る事は全てやった。後は神のみ知る」と

新年恒例の板金セミナー

愛知県板金総合職業訓練協会主催

愛知県板金総合職業訓練協会主催の新春板金セミナーが2月12日(日)に愛知県産業貿易館で開催された。

石川鍾吾当協会常務理事が司会を務め、平野尾張板金連合会長の開会の言葉で始められた。最初に当協会の長谷川会長が挨拶をし、「後継者を育てなければ板金業界の発展はない。板金工業組合と共に協会の発展がある」と述べた。次に挨拶に立った篠原全板興業社長は「去年の全板愛知大会は大成功であった」さらに「最近世交代が進み、私にとって話し相手が少なくなった」とも述べた。

続いて挨拶に立った齋藤愛知県板理事長は「組合と訓練協会の2本立ては全国的に少ない。又若い人を育てるには労働条件を良くして、1人より2人、3人の方が孤独にならず切磋琢磨し力も大きくなる」と述べた。その後第一部の

いった表情をしていた。

競技終了後、昼食をはさんで閉会式が行われ、終了後選手達はすぐに帰路についた。

宇野(岡崎支部)

開催される

講演で、佐藤名南経営センター代表による「今年の景気と経営」があり、①今年の景気の方②デフレは終わったか③中小企業の抱える人の問題等について語られた。

昼食休憩の後、今回の主講演である(株)マドック社長荒山元秀氏の「板金業を元気にする」があった。①私達にとって本当のお客様は誰なのか②会社とは誰のものなのか③板金業は21世紀には花形産業になる④利益を2倍にする、など出席者を熱くするような話が多数、昼食後の講演にもかかわらず眠気がおきなかった。

その後、恒例の新春福引があり、金賞、銀賞、銅賞、理事長賞、協会賞、協賛会社賞、など合わせて145点、その他参加賞などで空クジ無しであった。

最後に竹内廣幸愛板知多支部長の閉会の言葉で新春セミナーを終えた。
鈴木章太郎(緑支部)

第41回

西尾支部総会

西尾支部は1月26日(木)、佐藤忠雄愛知県板金工業組合副理事長、西俣章西三板金連合会会長をお招きして、西尾勤労会館にて、西尾支部第41回総会を行った。組合員二四名中二三名の出席であった。司会に黒田英夫氏、議長に鈴木恵司氏が選出され平成十七年度事業報告、会計報告及び監査報告、また各委員から保証委員会報告、厚生委員会報告、共同事業委員会報告、技能士会委員報告、青年部報告があり、平成十八年度事業計画と予算案が報告された。

御来賓の佐藤氏から保証制度の改正、ファインスチール、アスベスト対策についての説明がなされた。

西俣氏から聖徳太子が建立された四天王寺の社務所から入手された旗の説明。この旗は文字の線が大工道具の形で構成され、南無阿弥陀仏と書かれてあった。また、技能検定試験の受験時に使われる大きな製図板や丁定規は、現在購入し難くなっているため、使われなくなったこれらを持つている方は是非寄贈して頂きたいとの依頼がなされた。

総会終了後、会場を料理店「香村」に移し田中屋と富士商店の問屋さんをまじえて懇親会を行った。
大橋(西尾支部)

江南支部 総会旅行

江南支部は2月5・6日に支部の総会を兼ね北陸方面へバスで親睦旅行に出かけました。参加者は13名で朝9時に江南を出発しました。米原近くまで来ると雲行きが悪く、雪と風が強くて、やむをえず途中の見学コースを変更して、日比布館、小牧かまぼこ工場を見学しました。そして国道305号線を通り、今夜の宿である「浜富旅館」には予定より早く到着しました。この旅館は福井県越前町に在り、目の前はまさに日本海という所に建っています。

旅館に入ってまず支部の総会を開きました。柘植支部長が挨拶をした後議事に入り、平成17年度事業報告、県板事業の保証制度再講習・アスベスト講習・ファインスチール普及活動についての説明、18年度の支部役員の紹介がありました。

総会後、日本海を眺めながらのんびりと湯につかり体を休め、6時から宴会となりました。菱川美喜男氏の乾杯の音頭で宴会が始まり、日本海で獲れた新鮮な海の幸が卓上を豪華に彩どり、全員が納得いく旬の味で感激しました。宴は支部会計の滝伸次氏の一本締めで閉じられました。

翌朝も天候が悪く、日本海からの風は冷たく寒さが厳しかったの

で予定を変更し、旅館を9時半に出発しました。時間の都合で「魚ひろば」に立ち寄り、お土産の買い物を済ませ、バスの中ではビンゴゲームを楽しみました。途中寄り道して長浜へ回ることになりました。長浜には古い町並みが残っており、間口の広い長方形の町家が並ぶ通りが基盤の目のように出来ています。職人と商人の集まりでこの町が発展してきたことを偲ばせます。

また、ここ長浜はNHK大河ドラマ「功名が辻」の主人公、山内一豊が長浜城の城主を勤めたことから、「北近江一豊・千代博覧会」

が開催されていました。その会場となっている長浜城歴史博物館、曳山博物館、長浜御坊、大通寺を見学しました。夢と絆で結ばれた二人の半生を映像や紙芝居で紹介しており、見所が多くありました。又、見学コースの途中には盆梅展も開かれており、樹齢四百年を越す古木が放つ甘い香りが立ち込めていました。

石井(江南支部)

2月各支部の動き

名古屋板金連合会	2名
3日 募金箱贈呈式 (14個市長に贈呈)	
西支部	11名
24日 支部例会 ・理事会報告、他	
東北支部	5名
12日 定例会	
昭和支部	13名
8日 定例常会	
瑞穂支部	19名
1日 定例会	
熱田・南支部	7名
16日 定例会	
中川・港支部	12名
24日 支部会合 ・全板大会参加について、他	
尾張板金連合会	13名
4日 理事会・新年会	
春日井支部	12名
8日 定例会	

津島支部	5日 定例会	8名
江南支部	5日・6日 支部総会 (親睦旅行)	13名
小牧支部	16日 定例会	5名
岡崎支部	10日 定例会	6名
2日・9日 成人訓練 ・競技大会の練習、他		13名
碧南支部	17日 青年部ボーリング大会	26名
刈谷支部	13日 定例会	4名
豊田支部	6日 第17回50周年委員会 第10回役員・班長会	21名
13日 第18回50周年委員会		13名
20日 第19回50周年委員会		16名
26日 創立50周年記念式典・祝賀会		107名
西尾支部	15日 役員会	11名
幡豆支部	13日 支部総会	13名
知多支部	10日 理事会 ・支部総会について、他	15名
23日 役員会		22名
東三支部	6日 定例会	25名
15日 青年部定例会		12名
27日 三役会		10名

編集後記

トリノ・オリンピックが閉幕し寝不足からようやく解放された人も多いのではないだろうか。前半、中盤では日本人選手の手には届かそうゲームがいくつカ有った。真夜中の3時4時にテレビをつけ、せつかく布団の中で温まった体を起こし、体が冷えていくのを我慢してゲームに見入った。しかし結果は惜敗と惨敗ばかり。悔しさと寒さで、その後布団に入っても寝付けなかった。

フィギュアスケート女子シングルは朝6時頃より荒川静香と村主章枝が出場すること。この時間帯なら早起きでストーブを点け替えてから観られる。また期待を裏切られるかと思ひながらテレビをつけた。しかし荒川の演技は素人目で見て完璧であり、しかもスピンの時の彼女の手と腕のしなやかさは素晴らしい。彼女の演技が終わった瞬間にメダルを確信出来た。

表彰式で日の丸が真ん中に上り君が代が演奏されたとき、荒川ははつきりと口を動かし国歌を歌っていた。最近の日本人メダリストには無かった光景である。彼女の演技以上に感動した。 高橋

三月一日(水) 小雨
四一三三 編集会議
広報委員 七名出席
午後二時半開会 五時閉会



旅館にて総会